

製造現場で無線化検討中の方、使用中のWi-Fiで困りごとがある方へ

無線化に向けてWi-Fiを導入したものの、電波干渉が起きやすく、回線が不安定になるという課題に直面していませんか。こうした事態への対応として代用の通信方式を検討するものの、何が最適な選択肢かわからず悩まれるケースをよく伺います。

本ウェビナでは、Wi-Fiからローカル5Gへの切り替えを検討するにあたって必要となる、Wi-Fiとローカル5G、そしてパブリック5Gとローカル5Gのメリット・デメリットをお伝えしました。また、ローカル5G導入時の懸念点を整理し、導入判断の参考にしていただければと思います。

ローカル5Gとは

ローカル5Gは、企業・自治体等の自社エリアに構築できる、自営網の5Gネットワークです。「高速・大容量」「低遅延」「高セキュリティ」を特徴としており、基地局間を切り換えるハンドオーバーにも対応しています。広範囲なエリアで、安定した専用回線通信を実現できます。

Wi-Fiは気軽に導入できる一方で、ローカル5Gは通信範囲や通信の安定性、低遅延の面で有利です。

ユースケース

令和2年度から6年度にかけて総務省募集で行われた、ローカル5G実証実験の結果を独自に集計・考察した結果について述べました。

実証実験の内、95%以上が動画像の伝送でした。また周波数帯では、Sub6帯を使用して屋外を伴うエリアを対象とするケースが多くなっています。

これらの実証実験の項目は、遠隔監視や遠隔制御などの効率化/省人化を目的とした内容が多く、期待が高い事を示しています。

ローカル5Gソリューション

ウェビナの終盤に、国内設計・製造により、高い性能と堅牢性を持つ、アルプスアルパイン製ローカル5Gユニットを紹介しました。

また、この機材をレース車両に搭載し、モビリティリゾートもてぎのサーキットコースにて実施した、オンボード映像伝送の実証実験について紹介しました。

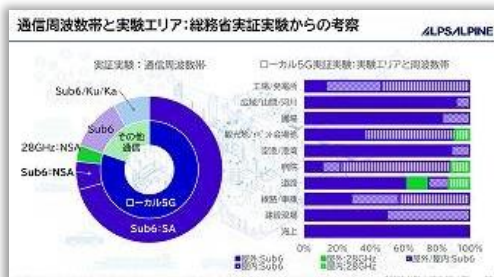
■ 本日の登壇者 ■



アルプスアルパイン株式会社
ソリューション営業部 産機新事業G
渡辺 裕文 氏



株式会社リョーサン
技術本部 応用開発部
佐藤 貴浩



[他記事、ウェビナ情報はこちら](#)



エンジニアよりそうマガジンサイト